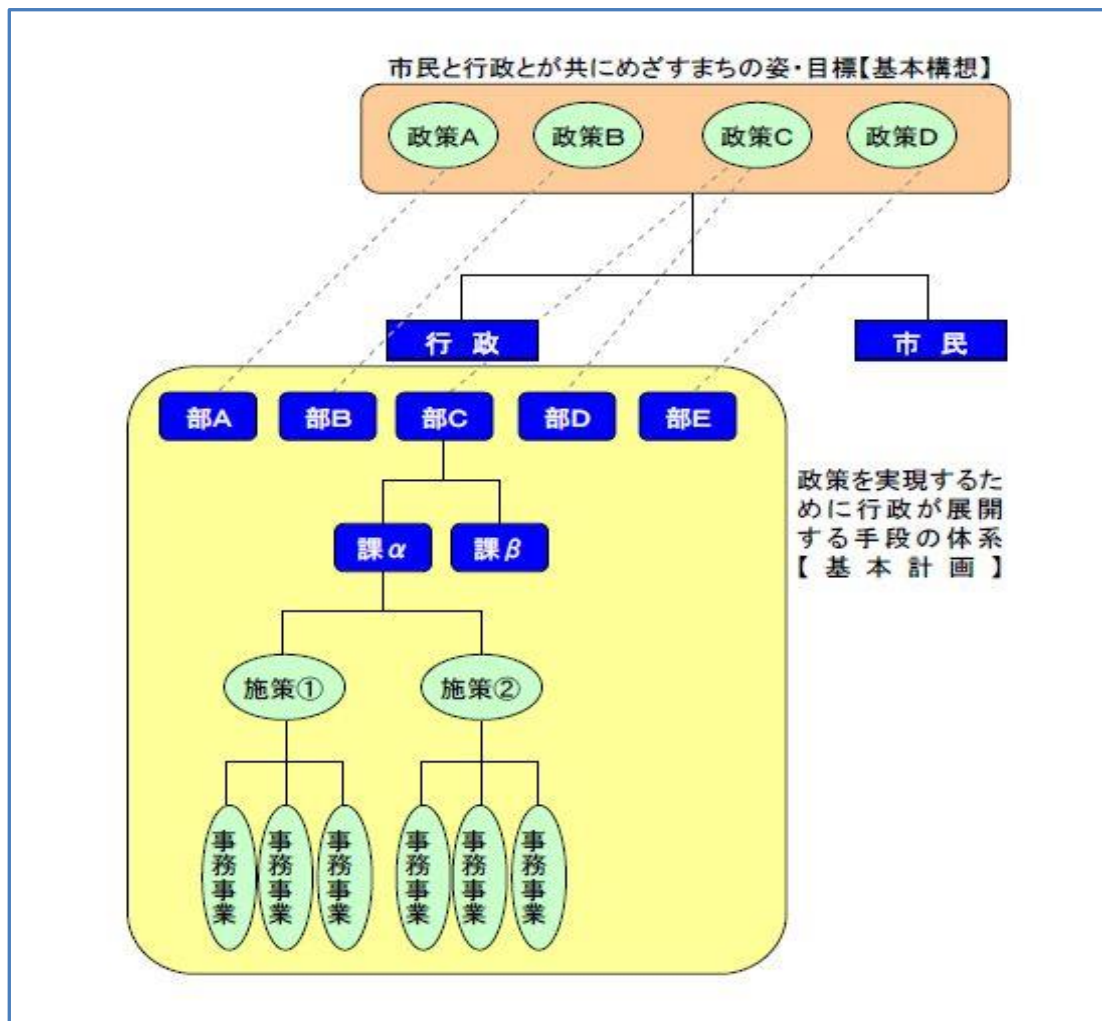
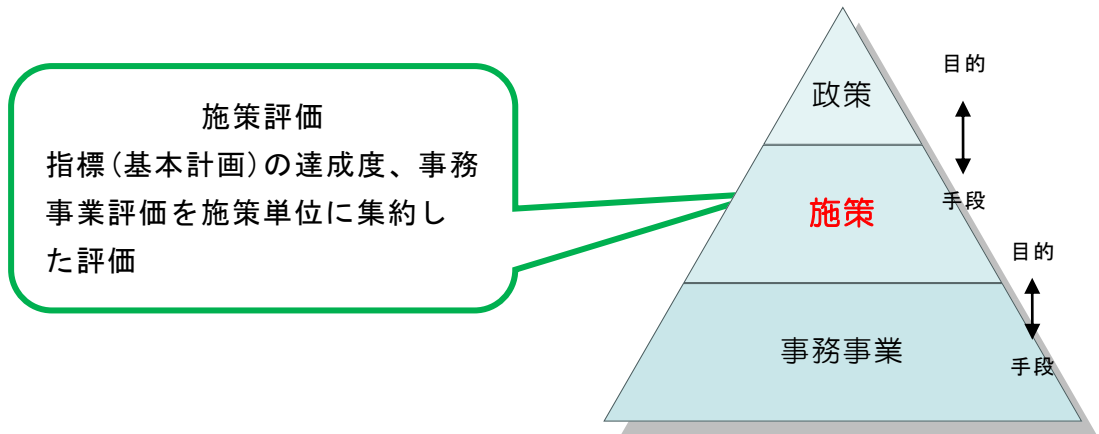


## ■ 施策評価について

「施策」とは、行政が市民とともに目指すまちの姿や目標（これを「政策の基本目標」または「政策」と呼んでいます。）を実現するための手段や方向性です。また、この施策を実現するために、行政が資源を投入して講じる具体的な手段を「事務事業」と呼んでいます。これは北上市総合計画の考え方と共通するものです。



各課で実施している事務事業について、政策体系や事業類型で整理し目的を明確化して、人件費等を含めたフルコストを把握し、そこで得た情報を基に施策評価を実施していますが、これは次の役割を持たせたツールと考えます。

1) 施策の進捗状況と課題を把握する。

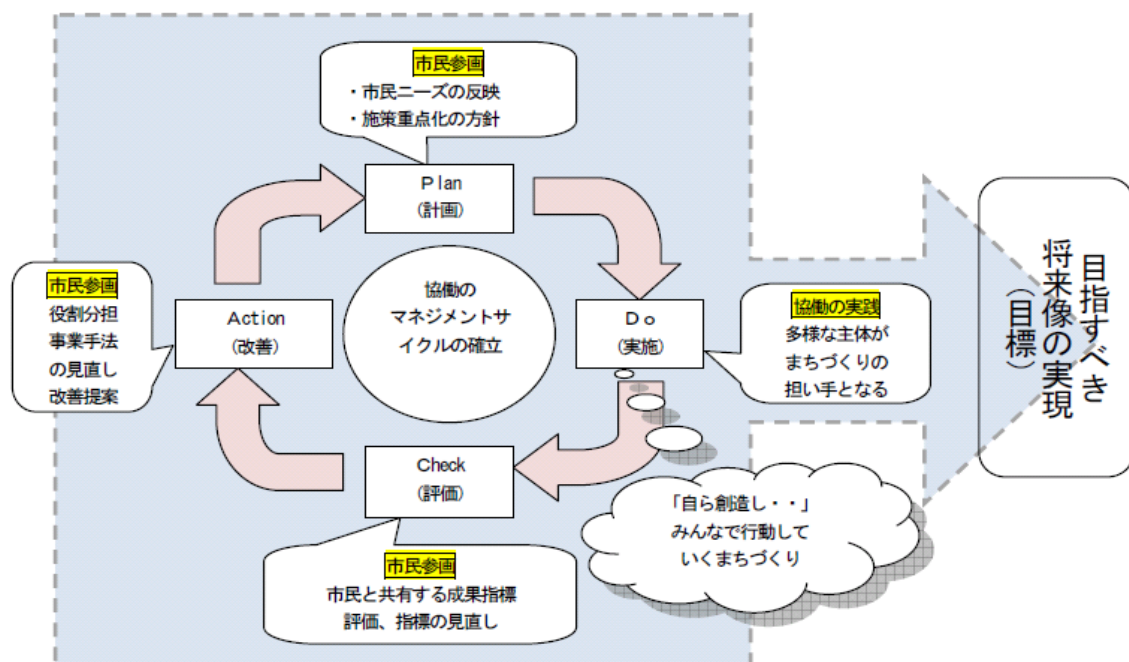
2) 施策の次の展開戦略の方向性を検討する材料とする。

3) 施策を実現するための事務事業が適切か、改廃の検討を行う。

4) 経営資源に限られる中で、まちづくり全体を俯瞰し、施策ごとに経営資源の配分上の重み付けを行う材料とすること。

これにより、「北上市総合計画」を市民とともに実現していくため、「計画—実施—評価—改善」という循環サイクルをつくり、「市民参画を推進しながら政策の精度を高めていく」ことを目指し、総合計画をもとにした政策管理を図っていくものです。

※マネジメントサイクルのイメージ図





## 〈2次評価:政策推進会議〉

- 1) 1次評価の評価内容について、主に成果指標の推移から最終年度達成状況が妥当かどうか、外部要因・内部要因の分析が十分に整理されているかなどを確認する。
- 2) 成果指標のみでは測れない成果を加味し、最終年度達成見込みを判定する。
- 3) それぞれの成果指標について、施策の進捗状況把握に十分な機能を果たしているかどうか、当初の目標設定が適切であったかどうかを検証する。

## 〈評価結果を基本構想等審議会で報告〉

- 1) 政策推進会議で2次評価した結果を北上市基本構想等審議会(※)で報告し、総合計画に掲げる目標達成に向けた各施策の進捗度等を確認する。

※ 市の総合計画の策定及び推進に関する事項について審議するため、知識経験者、行政関係職員で組織される。審議会は、市長の諮問に応じ、基本構想及び基本計画を調査審議するほか、市長の求めに応じ、総合計画の推進に関し意見を述べることができる。

◆成果指標の達成率と達成状況の判断基準は以下のとおりです。

### ▼指標の達成率の算定方法

#### ア. 数値の増加・減少を明確な目標としているもの(累計していくものなど)

達成率(%) = 変動量実績 ÷ 目標変動量 × 100

例) ①基準年度数値60を70にする目標設定で、実績値が68の場合

$$\dots (68-60) \div (70-60) \times 100 = 80.0 (\%)$$

②基準年度数値120を90にする目標設定で、実績値が130の場合

$$\dots (130-120) \div (90-120) \times 100 = \Delta 33.3 (\%)$$

#### イ. 数値の維持を目的としているもの(標準値や範囲内に収めることを目指すもの)

達成率(%) = 実績値 ÷ 目標値 × 100 または、「達成」「未達成」とする。

例) ①目標設定が5,000で、実績値が4,900の場合

$$\dots 4,900 \div 5,000 \times 100 = [98.0 (\%)]$$

※この場合、[ ] 付き表示をしてください。

②目標設定が「3%以上、10%以下」で、実績値が8%の場合

・・・「達成」

▼成果達成状況の判断基準

ア. 単年度達成状況：

令和元年度単年度の指標の実績を総合的に勘案し次の基準により判定。

区分	達成状況	
	「数値の増加・減少を明確な目標としているもの」	「数値の維持を目的としているもの」 「指標の実績値を割合(%)としているもの」
1. 順調	前年度に比して順調に目標値へ近づいているもの。	100%目標水準を満たしたもの。
2. 概ね順調	前年度に比して目標値にやや近づいているもの。	80%以上目標水準を満たしたもの。
3. 遅れている	前年度に比して目標値から遠ざかっているもの。	目標水準の80%未満にとどまるもの。

イ. 最終年度の達成状況：

成果の達成状況について、基準年度を26年度として、5年経過時点での達成状況により判定します。

※単純に目標値へ同程度の割合で近づけていくものと仮定すると、6年間のうち4年間経過しているので、標準達成率は  
 $[5年 \div 6年 \times 100 = 83.3\%]$   
 として計算できる。

No.	指標名	指標に関する説明 (把握方法・算定式・単位等)	指標の実績値			目標値(達成率)		指標重要度
			H26 (基準年度)	H27	H28	中間目標 (H30)	最終目標 (H32)	
1	※ 年度当初の保育園 待機児童数	公立保育園 8園 私立保育園 8園 私立認定こども園 2園 私立小規模保育事業所 4園	4人	7人	1人	0	0	%
2	※ 年度末の保育園待 機児童数	毎年度の3月1日の待機児童数(規 定数の月内の実数は除く)	68人	31人	26人	0	0	%
3	※ 放課後児童クラブ への入所希望者が入所 できない割合	14事業保育所(27児童クラブ)	99.46%	100%	100%	100%	100%	%
4	特別保育実施園数	乳児保育2、延長保育14、一時保育 1、編入・病後児保育1	11園	15園	18園	15園	20園	%
5								%
6								%

※印の指標は総合計画(基本計画)に記載していないもの。

◆成果達成状況の分析  
 単年度の達成状況  
 1. 順調  
 2. 概ね順調  
 3. 遅れている  
 最終年度の達成状況  
 1. 順調  
 2. 概ね順調  
 3. やや遅れている  
 4. 遅れている

理由(上段:指標に基くもの、下段:その他)

「複数の指標」「指標重要度」等を総合的に勘案し次の基準により判定します。

区分	達成状況	
	「数値の増加・減少を明確な目標として いるもの」	「数値の維持を目的としているもの」 「指標の実績値を割合(%)としている もの」
1. 順調	達成率 83.3%以上	[100%] 達成
2. 概ね順調	達成率 66.6%以上 (≒83.3×80%)	[80%以上]
3. やや遅れている	達成率 49.9%以上 (≒83.3×60%)	[60%以上]
4. 遅れている	達成率 49.9%未満	[60%未満]